



2学期がスタート・・・コロナに気をつけて

2学期がスタートして1週間。子供たちも徐々に学校生活のリズムに慣れてきたようです。「9月」という響きから暑さの厳しかった7・8月までとは季候も変わった感じはしますが、午後は、まだまだ残暑厳しい日が続きますので、コロナと併せて、熱中症対策も気をつけながら教育活動を進めていきたいと思っています。長かった夏休み明けですので、学校生活に適応する上での疲れもあるかと思えます。ぜひ、就寝時刻に注意して十分な睡眠を確保してほしいと思います。「早寝・早起き・朝ご飯」は生活のベースになります。ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

8月30日の始業式では、パラリンピックの女子車椅子バスケット日本代表選手で、本校のOGでもある安尾 笑さんのことや、新型コロナウイルス感染症に関わって、「基本的対策を再度徹底すること」「差別・偏見をなくすこと」「働いておられる方々に感謝の心を持つこと」等についてお話をしました。

新型コロナウイルス感染症については、依然として本県も第5波が厳しい状況にあります。学校でも基本的な感染防止策の徹底に十分留意しながら教育活動に取り組んでいきますので、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

始業式後半では、3人の代表児童が「夏休みの思い出」と「2学期にがんばること」を発表してくれました。1年生の□さんは、家族で夏祭りに行ったこと、算数の引き算や国語の発表をがんばることを話してくれました。

また、3年生の□さんは、夏休みの思い出はいろいろなお手伝いをしたことで、特に家族の洗濯物たたみが続けてがんばったこと、2学期は、漢字の学習に力を入れたいと発表してくれました。そして5年生の□さんは、夏休みの思い出としては、ピアノの発表会で練習の成果を発揮して演奏できたことや阿蘇に星を見に行ったこと、2学期は持久走と児童会執行部の仕事をがんばりたいと発表しました。3人とも、話の中身をしっかりと覚えて話すことができおり、他の児童のお手本になる立派な発表でした。



ありがとうございます！ ボランティア

本校の特色の一つに、地域や保護者の方々による「ボランティア」があります。これまでも継続的にご支援をいただいています。毛筆、硬筆、丸付け、そろばん、傾聴、ソーイング、各クラブ活動、生け花、登下校の見守り・・・沢山の方々のご協力により、本校の教育活動は進められてきました。コロナ禍で、中々計画的な取組がしにくい状況ですが、今後も感染状況を見ながら取り組んでいけたらと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、これまで各地域で見守りを続けていただいている方々に加え、2学期からはバスの登下校



時にご協力いただける方々による見守り支援もスタートしました。全国的に児童が犯罪事案や交通事故の被害者となるケースが後を絶たない今日、地震後の復旧工事まったただ中の本町においては、大変ありがたいご支援だと考えます。子供たちの挨拶の励行にも良いことだと思います。ご協力いただく皆様には心より御礼申し上げます。

6年生が今年受けた全国学力調査の児童アンケートに「あなたは地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という質問がありました。本校児童の結果は、「よくある」24.7% (県 16.3、全国 17.8) 「どちらかと言えばある」39.0% (県 37.1、全国 34.6) でした。この結果は、入学間もない地震後に受けた多方面からの心温まるご支援や、地域の方々による日々の温かいボランティアに少なからず起因しているのではないかと推測するところです。本校で育みたい資質・能力の一つ「ふるさとを大切に作る心」をご家庭や地域の皆様とともに育てていければと願っています。